



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和7年10月21日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
環境生活政策課	生物多様性企画監	江崎	内線 2920 直通 058-272-8231 FAX 058-278-2605

## 緊急銃猟制度に係る講座の開催について

県と岐阜大学で共同設置している岐阜県野生動物管理推進センターでは、行政関係者等を対象に、専門家等による野生動物管理に関する連続講座を毎年開催しています。

今年度は、本年9月に運用が開始された緊急銃猟制度をテーマに、県内市町村、警察、猟友会の担当者を対象とした連続講座を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

### 記

#### 1 第1回：緊急銃猟（準備編）

(1) 日 時 令和7年10月24日(金) 13:30～17:00

(2) 会 場 中濃総合庁舎大会議室(美濃市生檍1612-2)

(3) 参 加 者 市町村、警察署、県 約100名

(4) 内 容 ① 緊急銃猟制度の概要及び体制の構築について(座学)

講師：酪農学園大学 農食環境学群

准教授 伊吾田 宏正 氏

② 机上シミュレーション

#### 2 第2回：緊急銃猟（実施編）

(1) 日 時 令和7年11月5日(水) 10:00～15:00

(2) 会 場 飛騨市古川町コミュニティセンター(飛騨市古川町若宮2-1-66)

飛騨市森林公園(飛騨市古川町信包733-1)

(3) 参 加 者 市町村、警察署、猟友会、県 約100名

(4) 内 容 ① クマ類の射撃における留意点について(座学)

講師：岐阜県野生動物管理推進センター

センター長 鈴木 正嗣 氏

② 住居集合地付近でクマ類を仕留めるということ(座学)

講師：野生動物被害対策クリニック北海道

代表 石名坂 豪 氏

③ 現地シミュレーション

#### 3 取材について

講座は公開で行いますが、撮影は各内容の冒頭のみでお願いします。

## 【講師紹介】

### 伊吾田 宏正 氏 酪農学園大学 農食環境学群 准教授

博士（農学）。狩猟学、野生動物管理学が専門。エゾシカを中心とした狩猟鳥獣の生態、個体数管理、捕獲、資源利用に関する研究を幅広く実施。狩猟鳥獣を地域資源として捉え、持続可能な管理体制の構築に取り組む。

環境省の知床世界遺産科学委員会エゾシカWG委員や鳥獣保護管理に係る人材登録事業審査委員、北海道エゾシカ有識者会議構成員などを務め、行政と連携した実践的な野生動物管理を推進。一般社団法人エゾシカ協会の運営するシカ捕獲認証制度の構築にも関与し、狩猟者教育やジビエ利用の制度設計にも貢献している。

令和6年に開催された鳥獣保護管理法第38条の改正（緊急銃猟）に関する検討会では座長を務め、クマ類の出没増加に対応するための法整備に貢献。

### 石名坂 豪 氏 野生動物被害対策クリニック北海道 代表

博士（獣医学）。獣医師・鳥獣対策コンサルタント。エゾシカ・ヒグマを中心とした大型哺乳類の保護管理に従事。吹き矢や麻酔銃による生体捕獲、シャープシューティング、各種わなによる捕獲、電気柵の設置・管理など、現場に根ざした実践的な対策を多数経験。OSO18捕獲対応推進本部会議委員、エゾシカ対策有識者会議構成員、釧路湿原エゾシカ対策検討会議委員などを歴任。環境省臨時職員、（公財）知床財団職員などを経て、令和5年に「野生動物被害対策クリニック北海道」を札幌市にて設立。北海道環境生活部のヒグマ専門人材バンク登録者として、行政と連携した被害防止・捕獲推進に取り組む。

### 鈴木 正嗣 氏 岐阜県野生動物管理推進センター センター長

博士（獣医学）。野生動物管理学が専門。ニホンジカをはじめとする大型野生哺乳類の繁殖や感染症、管理政策に関する研究を実施。行政や民間団体等には、個体数コントロール、特に銃器による捕獲手法について助言を続けている。環境省屋久島世界遺産地域科学委員会ヤクシカWGで特別委員を務める他、岐阜大学応用生物科学部教授及び岐阜県野生動物管理推進センター長として、地域に根ざした鳥獣対策の研究と人材育成に取り組んでいる。

著書に『野生動物管理：理論と技術』（文永堂出版）、『野生動物管理のための狩猟学』（朝倉書店）、『実践 野生動物管理学』（倍風館）、『野生動物の保全と管理の事典』（朝倉書店）などがあり、大学教育と現場実践をつなぐ橋渡し役として活躍している。

## 【岐阜県野生動物管理推進センターの概要】

### 1 開設日

令和4年4月1日

### 2 開設場所

岐阜大学構内

### 3 目的

県及び岐阜大学が共同で野生動物の管理を推進するためのシンクタンク組織を設置することにより、生物多様性の保全の観点から野生動物による被害への対策を強化し、もって地域課題の解決と豊かな地域社会の創出に貢献することを目的とする。

### 4 体制

